

八郎潟、綴子大太鼓、油井ポンプ

天野松男



八郎潟はわれわれが小学校の頃はまだ大きな湖だったと思うが、それが埋め立てられた。その八郎潟の今の姿が見たくて寒風山に登った。登ったといっても車で行ったのだが。

Wikipediaによると「八郎潟（はちろうがた）は、秋田県にある湖。二級河川馬場目川水系に属する[2]。かつては面積 220km² と、日本の湖沼面積では琵琶湖に次ぐ第 2 位であったが、大部分の水域が干拓によって陸地化され、陸地部分が八潟村になった。現在では日本の湖沼において 18 位の面積である[3]。八郎湖や、八郎潟残存湖といった別名でも呼ばれる。

狭義には、南東部の八郎潟調整池のことを指し、現在「八郎潟」として示されるデータの多くは、ここで以下に掲げた表を含めて「八郎潟調整池」のものである。

広義には、干拓前の八郎潟の範囲を反映した八郎潟調整池、東部承水路、西部承水路の総称である。2007 年 12 月、この範囲が「八郎湖」として湖沼水質保全特別措置法の指定湖沼となった」ということである。

上：なまはげに迎えられる

下：前方の山が寒風山

寒風山から見た八郎潟：稲の黄金色が美しかった。





大太鼓の館

Wikipediaによると「綴子大太鼓（つづれこおおだいこ）とは、秋田県北秋田市綴子の上町（うえまち）集落と下町（したまち）集落に伝わる民俗芸能である。国の選択無形民俗文化財。大太鼓は直径2mを超えるものだけでも6張、現在最も大きいものは直径3.80m、胴の長さ4.52m、重さ3.5t。2番目の大きさのものでも直径3.71mあるが、こちらはギネスブックで世界一の認定を受けた。綴子上町大太鼓保存会（上町自治会）と綴子下町大太鼓保存会（下町自治会）により開催されている」とある。



秋田は油田地帯と小学校か中学校で習ったが、もうないと思っていた。しかし、場所はよく分からないが、まだ油井ポンプが稼働していた。